

## 第4章 高齢者福祉施策の推進

### 1. 健康づくりと自立した日常生活の支援

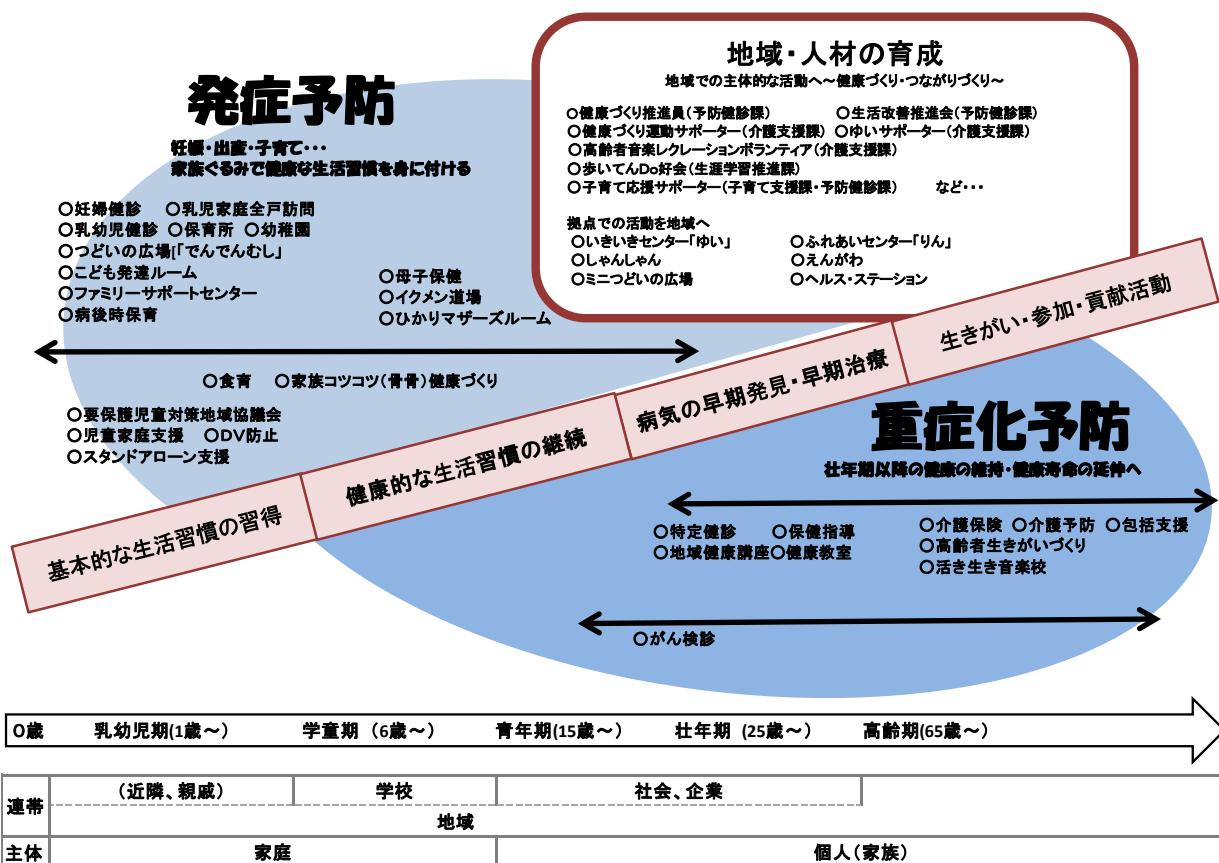
#### (1) 地域での健康づくりと介護予防の推進

介護予防とは、高齢者ができる限り住み慣れた地域で心身ともに健康に過ごし、寝たきりなどの要介護（支援）状態になつたり、要介護状態が更に悪化しないように予防することです。

介護予防は、生まれた時から始まっていると言われており、寝たきりの原因となる生活習慣病（高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症等）の予防をすることが重要です。

子どもの頃に基本的な生活習慣を身につけ、成人期には、健康的な生活習慣を維持するとともに、健診等で生活習慣病を早期に発見し、早期治療につなげ、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行います。高齢期になると、成人期に引き続き、生活習慣病の対策とともに介護予防として身体虚弱、転倒、認知症、低栄養、口腔機能低下などに対応するための取組が必要となります。

地域活動等を通して日頃からの地域のつながりを深め、一人ひとりが生きがいや自己実現を図るとともに、地域全体での健康づくり、介護予防の取り組みを行っていきます。



**①健康に関する講座****【事業内容と今後の方向性】**

要介護(支援)の原因となる生活習慣病予防、重症化予防を目的とし、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、子どもの時からの健康づくりを支援するため、まちづくり出前講座及び家族コツコツ(骨骨)健康づくり事業、小中学校での性教育、糖尿病予防教室などを実施しています。

**【健康講座の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	84回	107回	129回	130回	130回	130回

**②健康づくり推進員育成事業****【事業内容と今後の方向性】**

骨密度測定器など各種健康測定機器での測定や結果の見方などの説明を通して、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民(地域)の健康づくりを推進する人材を育成しています。

健康づくり推進員を中心地域での主体的な健康づくりが行われるように支援することで、ソーシャルキャピタルの醸成や健康意識の向上につなげ、市民一人ひとりの行動が、病気の発症予防や重症化予防、介護予防につながることをねらいとしています。

**【健康づくり推進員の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動人数 (累計)	12人	20人	29人	35人	45人	55人

**③ヘルス・ステーション設置補助事業****【事業内容と今後の方向性】**

地域住民を主体とした子どもから高齢者までの健康づくりを推進するため、地域の人材と身近な公民館等の類似施設を有効に活用しながら、健康づくりに関する取り組みや啓発、地域のつながりづくりを行う「ヘルス・ステーション」を開設する自治会(自治会内で設置する運営委員会)に対し補助金を交付しています。地域にある既存の人材や活動を、健康意識の向上の視点でつなぎ、地域の中から健康づくりの環境を生み出していくます。

**【ヘルス・ステーションの実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設置数	/	/	1ヶ所	4ヶ所	6ヶ所	8ヶ所

#### ④健診体制の充実

##### 【事業内容と今後の方向性】

市が実施するがん検診等と医療保険者が生活習慣病予防の観点から行う「特定健康診査」を総合的に実施しています。病気の早期発見、早期治療につながるよう、また、介護予防や生活習慣改善の機会として重要であることから、受診のしやすさなど受診体制を工夫改善し、受診率を向上させます。

##### 【各種健診の実績と目標】

		平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健診 (国民健康保険)	対象者	9,025人	10,092人		10,000人	10,000人	10,000人
	受診者	2,358人	2,456人		3,000人	3,000人	3,500人
	受診率	24.20%	24.30%		30%	30%	35%
胃がん	対象者	15,666人	15,666人		15,666人	15,666人	15,666人
	受診者	1,720人	2,043人		2,350人	2,350人	2,350人
	受診率	11.00%	13.00%		15%	15%	15%
大腸がん	対象者	15,666人	15,666人		15,666人	15,666人	15,666人
	受診者	2,399人	2,795人		3,133人	3,133人	3,133人
	受診率	15.30%	17.80%		20%	20%	20%
子宮頸がん	対象者	6,558人	6,558人		6,558人	6,558人	6,558人
	受診者	1,344人	1,426人		1,640人	1,640人	1,640人
	受診率	20.50%	21.70%		25%	25%	25%
乳がん	対象者	5,158人	5,158人		5,158人	5,158人	5,158人
	受診者	1,172人	1,375人		1,547人	1,547人	1,547人
	受診率	22.70%	26.70%		30%	30%	30%
肺がん	対象者	15,666人	15,666人		15,666人	15,666人	15,666人
	受診者	1,177人	2,065人		2,350人	2,350人	2,350人
	受診率	7.50%	13.20%		15%	15%	15%
骨粗しょう症	受診者	250人	303人		500人	500人	500人
肝炎ウィルス	受診者	317人	601人		600人	600人	600人

**⑤保健指導****【事業内容と今後の方向性】**

健診結果をもとに、生活習慣病予備群及びハイリスク者で生活改善を要する人を対象に、特定保健指導を行っています。

今後も対象者の生活改善のため、継続的に取り組んでいきます。

**【保健指導の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
保健指導率	52.2%	55.3%		60%	60%	60%

**(地域支援事業)****【事業内容と今後の方向性】**

いつまでも健康で、生きがいをもって地域で生活できるようにするために、様々な角度から健康づくりを学ぶ講座を、介護支援課、予防健診課、生涯学習推進課の3課合同で実施しています。

今後も、継続的に取り組んでいきます。

**【健康づくりステップアップ講座の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開催回数		7回	5回	5回	5回	5回
のべ参加者数(定員50人)		315人	250人	250人	250人	250人

**(地域支援事業)****【事業内容と今後の方向性】**

地域での健康づくり、生きがい活動を推進するために、高齢者の健康づくりの知識やレクレーション運動の指導方法を学ぶ「健康づくり運動サポーター養成講座」を開催し、人材を育成しています。また、「健康づくり運動サポーター連絡会」では、サポーター同士の知識の共有や情報交換を行っています。

今後も、地域での高齢者の運動を推進する人材を育成し、介護予防の充実を図ります。

**【健康づくり運動サポーターの実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
養成講座受講者数	16人	20人	21人	25人	30人	35人

**(地域支援事業)****【事業内容と今後の方向性】**

地域住民を主体とした高齢者の健康づくりや交流活動を目的に、健康づくり運動サポーター等が中心となって、身近な公民館等の施設を活用し、運動教室(玄米ニギニギ体操、ボール運動、家トレ体操など)を開催しています。運動教室が開催されていない地域では、運動指導士が教室開催の支援を行い、地域住民を主体とした運動教室の活性化を図り、継続的な支援を行っていきます。

**【地域展開型運動教室の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
運動教室を行う自治会数			24ヶ所	25ヶ所	26ヶ所	27ヶ所

**(⑨いきいきボールンピック(介護予防週間イベント)** (地域支援事業)  
**【事業内容と今後の方向性】**

古賀市介護予防週間(介護の日の11月11日を含む1週間)イベントとして、運動教室で使用しているボールを使った「いきいきボールンピック」(以下「大会」という)を開催し、地域での運動教室等の介護予防活動の普及啓発を行っています。大会出場をめざし、地域の公民館等で練習を自主的に行うなど、高齢者の健康づくり活動の推進につながっています。

今後は、市民ボランティア等にも積極的な参加も含め、継続的に取り組んでいきます。

**【いきいきボールンピックの実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大会出場者 (定員30チーム)		170人	181人	180人	180人	180人

**(⑩活き生き音楽校** (地域支援事業)  
**【事業内容と今後の方向性】**

歌ったり、楽器を演奏することで、心肺機能、口腔機能、嚥下機能、運動機能、認知機能の維持改善を目的に、地域での活き生き音楽校を開催し、地域主体の活動へ移行するための支援を行っています。

今後も、地域において音楽を通した介護予防活動が展開していくように、支援を行っていきます。

**【活き生き音楽校の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
のべ参加者数	529人	1,082人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人
支援自治会数	1ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所

**(⑪高齢者音楽レクレーションボランティア養成講座** (地域支援事業)  
**【事業内容と今後の方向性】**

地域での健康づくり、生きがい活動を推進するために、音楽を通した介護予防を推進する技能を習得する「高齢者音楽レクレーションボランティア養成講座」を開催します。なお、養成した人材は、活き生き音楽校の地域展開の推進者として活動します。

**【高齢者音楽レクレーションボランティアの目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
養成講座受講者数				20人	20人	20人

**(12)介護予防に関する講座****(地域支援事業)****【事業内容と今後の方向性】**

介護予防の情報などを知つてもらうために、様々なまちづくり出前講座を実施しています。講師は、介護支援課の職員だけではなく、介護サービス事業所の専門職が行うなど、介護予防に関する幅広い内容となっています。平成26年度からは、自宅で簡単にできる体操(家トレ)を普及させるための取り組みを強化しています。

今後も、アンケート等でニーズを捉え、内容を検討しながら継続的に取り組んでいきます。

**【講座の実績と目標】**

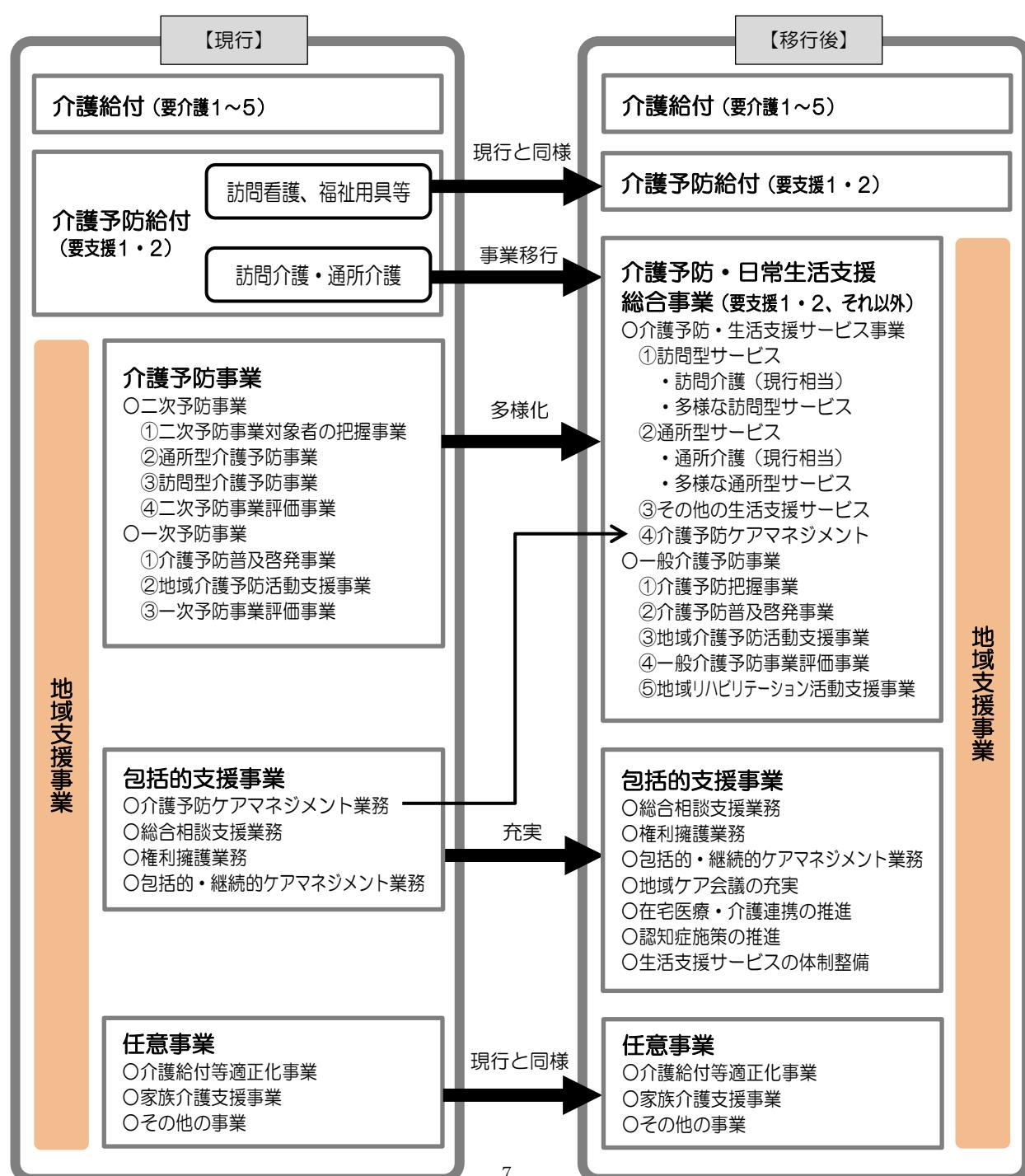
	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	35回	34回	45回	50回	55回	60回

## (2) 介護予防サービスの効果的・効率的な実施

介護保険に関するアンケート調査では、要支援認定者の約75%が自宅で暮らしたいと答えており、支援が必要になっても在宅生活を続けたい人が多いことがわかります。そこで、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、効果的・効率的な介護予防サービスが提供できる取り組みを推進します。

また、地域の実情に応じた介護予防サービスの提供を目的とした介護保険制度の改正（下図）に伴い、介護予防給付であった要支援者の訪問介護及び通所介護を、平成28年度より地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行します。

国が示す介護予防給付及び地域支援事業の制度改正



(地域支援事業)						
①二次予防事業対象者把握事業						
【事業内容と今後の方向性】						
要介護(支援)認定を受けていない高齢者に、「基本チェックリスト」を実施し、二次予防事業対象者(筋力低下や栄養、口腔機能の低下、認知機能の低下などが見られる人)及び二次予防事業対象者以外で認知症、うつ、閉じこもりの項目に該当する人(以下、「一次予防事業対象者」という)を把握します。なお、今後は郵送によるアンケート調査ではなく、要介護(支援)認定で非該当となった人、相談や地域の情報等から介護予防が必要な人を把握し、保健師等が訪問等を行い「基本チェックリスト」を実施しています。						
【事業対象者把握の実績と推計】	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
二次予防事業対象者数	671人	445人	430人	400人	介護予防把握事業 として実施	
一次予防事業対象者数	30人	26人	43人	40人		



(地域支援事業)						
②介護予防把握事業						
【事業内容と今後の方向性】						
平成28年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、地域の情報等から閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握し、介護予防活動へつなげる取り組みを行います。						

(地域支援事業)						
③介護予防ケアマネジメント						
【事業内容と今後の方向性】						
二次予防事業対象者が要介護(支援)状態になることを予防するため、保健師等の家庭訪問により個々の状態に合った介護予防支援計画を立て、その目標の達成を目指し、介護予防教室等の参加奨励、状況確認、評価訪問を行うなどの支援を行っています。また、ケアマネジャー等が要支援認定者の介護予防給付のケアプランの作成・評価等を行い、一部の業務を居宅介護支援事業所に委託し、ケアプランの点検・指導等を行います。						
【介護予防ケアマネジメント件数の実績と推計】	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
二次予防対象者ケアマネジメント 件数(初回のみ)	393件	350件	288件	268件	介護予防ケアマネジメント として実施	
要支援者ケアマネジメント 件数(年度計)	4,839件	5,292件	6,036件	6,936件	一部、介護予防ケアマネジメントとして実施	
介護予防ケアマネジメント件数(年度計) (介護予防・生活支援サービス事業対象者)					3,885件	4,190件
					5,265件	5,554件

**④訪問型介護予防事業**

(地域支援事業)

**【事業内容と今後の方向性】**

介護予防教室の参加につながらなかった二次予防事業対象者や一次予防事業対象者を保健師等が家庭訪問し、医療につなげたり、在宅生活支援サービスの利用支援を行う等、必要な相談・指導・支援を行っています。

**【訪問型介護予防事業の実績と推計】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
二次予防事業対象者 実訪問人数	224人	223人	172人	160人	多様な訪問型サービス として実施	
一次予防事業対象者 実訪問人数	16人	12人	21人			20人

**⑤高齢者生活管理指導事業**

(地域支援事業)

**【事業内容と今後の方向性】**

一時的に支援・指導が必要な高齢者に対し、生活管理指導員を派遣し、適切な支援・指導等を実施することにより、自立した生活が送れるように支援を行っています。

**【高齢者生活管理指導の実績と推計】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	35人	31人	40人	45人	多様な訪問型サービス として実施	
のべ訪問時間	112時間	143時間	150時間			160時間

**⑥訪問型サービス**

(地域支援事業)

**【事業内容と今後の方向性】**

平成28年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、介護予防・生活支援サービス事業対象者の個々の状況を踏まえて、訪問介護員により身体介護や生活援助を行う訪問介護のほか、民間事業者・シルバー人材センター・市民活動団体・ボランティア等が行う生活援助サービス、保健師等により訪問指導等を行う短期集中予防サービスといった多様な訪問型サービスにつなげます。

**【訪問型サービスの推計】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問介護(現行相当)					168人	168人
多様な訪問型サービス					250人	250人

(地域支援事業)						
⑦通所型介護予防事業						
【事業内容と今後の方向性】						
二次予防事業対象者や一次予防事業対象者に、運動・口腔機能の向上、栄養改善、認知症・うつ・閉じこもり予防の教室を開催しています。教室終了後は、必要に応じて、訪問や電話連絡などの事後フォローを行い、継続して介護予防に取り組めるよう支援します。						
【通所型介護予防事業の実績と推計】	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
二次予防事業対象者	2,060回	2,678回	2,900回	2,700回	多様な通所型サービスとして実施	
	143人	107人	129人	120人		
一次予防事業対象者	142回	204回	240回	180回		
	10人	11人	22人	16人		

(地域支援事業)						
⑧通所型サービス						
【事業内容と今後の方向性】						
平成28年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、介護予防・生活支援サービス事業対象者の個々の状況を踏まえて、通所介護事業者による通所介護(デイサービス)の他、民間事業者・市民活動団体・ボランティア等が行う運動やミニデイサービス等の通いの場、生活機能改善を行う介護予防教室等に通う短期集中予防サービスといった多様な通所型サービスにつなげます。						
【通所型サービスの実績と推計】	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通所介護(現行相当)	/			/		
多様な通所型サービス	/			74人	90人	
	/			150人	150人	

### (3) 社会参加と生きがいづくりの充実

高齢者福祉に関する基礎調査では、要介護（支援）認定を受けていない人の80%以上が生きがい、趣味があると答えており、1ヶ月以内に知人や友人に会ったと答えています。

古賀市では、多くの生きがい活動を展開しており、高齢者福祉に関する基礎調査からは、古賀市の高齢者の社会参加意欲が強く感じられますが、その一方で、生きがいや趣味もなく、1ヶ月間誰にも会っていない高齢者がいることも見えてきます。

高齢期は、定年退職や子どもの独立などを契機として、地域社会での役割や人間関係を築いていくなど、新たな生きがいを個々に見つけていく時期でもあります。経験豊かな高齢者の能力を活用した取り組みや、早期の社会参加のためのきっかけづくりにより生きがいづくりや引きこもり予防の推進を図ります。

#### 古賀市の多様な生きがいづくり活動



**(①介護支援ボランティア事業 (地域支援事業))**

**【事業内容と今後の方向性】**

高齢者が地域貢献や社会参加をすることで、生きがいづくりと介護予防を目的に、高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行った場合に「ポイント」を付与し、その「ポイント」に応じて交付金を交付しています。

今後も、ボランティア活動による社会参加・地域貢献を通して高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進していきます。

**【介護支援ボランティアの実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録者	14人	107人	140人	150人	160人	170人

**(②高齢者外出促進事業)**

**【事業内容と今後の方向性】**

高齢者の引きこもりや孤立の予防、健康増進を目的に、市内で開催するイベントや講演会等に高齢者が参加することで「ポイント」を付与し、その「ポイント」に応じて健康グッズ・介護予防グッズ等の景品と交換をしています。

今後は、より多くの高齢者が参加できるような仕組みを検討し、継続的に取り組んでいきます。

**【高齢者外出促進事業の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
のべ参加者数	242人	2,070人	3,000人	3,100人	3,200人	3,300人

**(③老人クラブ活動支援事業)**

**【事業内容と今後の方向性】**

老人クラブは、地域の高齢者が互いに親睦を深め、様々な社会参加活動に加わることで、生きがいづくりを促進することを目的に、地域のボランティア活動等の自主活動を積極的に行ってています。

今後は、会員が減少している現状も踏まえながら、活動が活性化するよう継続的に支援を行っていきます。

**【古賀市老人クラブ連合会に加入する老人クラブの実績と推計】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
単位クラブ数	28単位	28単位	29単位	30単位	31単位	32単位
会員数	1,727人	1,846人	1,700人	1,730人	1,760人	1,790人

#### ④介護予防・生きがい活動支援センター事業(いきいきセンター「ゆい」)

##### 【事業内容と今後の方向性】

高齢者が、生きがいを持つことにより、要介護(支援)状態への進行を予防するため、生きがい支援活動を行うサポーターの養成や、健康増進の活動、世代間交流等を行っています。また、生活に不安がある高齢者等に対する短期入所事業も併せて実施しています。

今後は、高齢者と地域の社会資源を結ぶコーディネート機能の充実がより求められます。いきいきセンター「ゆい」においても高齢者の介護予防、生きがい活動における、コーディネート機能や情報センター機能の強化についての研究も行っています。

##### 【いきいきセンター「ゆい」の実績と目標】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
のべ利用者数	3,308人	3,072人	3,200人	3,250人	3,300人	3,350人
サポーター数	1,037人	1,028人	1,040人	1,045人	1,050人	1,055人

#### ⑤介護予防支援センター事業(ふれあいセンター「りん」)

##### 【事業内容と今後の方向性】

高齢者の介護予防を目的とする生きがい活動、健康指導及び生活相談等の事業を実施し、高齢者福祉の向上及び健康寿命を延ばすための事業を実施しています。

今後も、指定管理者による運営形態を維持しつつ、利用拡大が図れるような取り組みを推進していきます。

##### 【ふれあいセンター「りん」の実績と目標】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
のべ利用者数	3,094人	3,228人	3,300人	3,350人	3,400人	3,450人

#### ⑥介護予防・活動支援事業(しゃんしゃん)

##### 【事業内容と今後の方向性】

虚弱傾向にある在宅で生活する高齢者が、室内レクリエーションや各種手芸などの生きがい活動を通じて、社会的孤立の解消、自立した生活の支援、要介護(支援)状態への進行を予防することを目的として活動しています。

今後も、指定管理者による運営形態を維持しつつ、利用拡大が図れるような取り組みを推進していきます。

##### 【「しゃんしゃん」の実績と目標】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
のべ利用者数	3,256人	3,090人	3,200人	3,230人	3,260人	3,290人

**⑦高齢者生きがいづくり支援事業（「えんがわ」）****【事業内容と今後の方向性】**

高齢者の生きがいづくり、介護予防及び地域福祉の向上を目的とする活動を支援する事業を行っています。

今後は、活動の広がりを目的として、介護予防のために活動している「えんがわくらぶ」（平成27年度より市民団体として活動）をはじめ、世代間交流を行いながら介護予防の推進を行う団体が活動する場として、活性化を図っていきます。

**【「えんがわ」の実績と目標】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	1,090人	1,146人	1,200人	1,250人	1,300人	1,350人

**⑧シルバー人材センター支援事業****【事業内容と今後の方向性】**

シルバー人材センターでは、高齢者の能力が生かされる様々な就労の促進や、社会参加、生きがいづくりの支援を行っています。平成25年度から、市内に居住する高齢者のみの世帯やひとり暮らしで身体の不自由な方を対象に身の回りの作業をお手伝いする「ワンコインサービス事業」を始めました。

今後も、高齢化社会を見据えた活動を展開できるよう、シルバー人材センターの活性化を図っていきます。

**【シルバー人材センターの実績と推計】**

	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録者数	375人	362人	370人	380人	390人	400人

**⑨老人の日記念品代贈呈事業****【事業内容と今後の方向性】**

老人週間（9月15日～9月21日）に、市内に居住する高齢者に対して、敬愛の意を表し、長寿を祝福することを目的として、88歳（米寿）、99歳（白寿）、100歳以上（仙寿）の人に記念品代を贈呈します。